



冬場の感染症予防



ノロウイルスを防ごう！

潜伏時間 感染から発症まで24～48時間。

症状 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱1～2日。感染しても症状がない場合や、軽い風邪症状のこともあります。

感染経路 ノロウイルスは、人の手を介して感染が拡大します。特に、便やおう吐物の処理時に手が汚染されやすいので注意が必要です。

ノロウイルス予防のポイント

正しい手洗いと消毒を！

<手洗いのタイミング>

- ・外出後 ・トイレの後 ・調理や食事前
- ・便やおう吐物の処理の後

注意！ ノロウイルスには薬用せっけんやアルコール消毒は効果なし

<下痢便やおう吐物の処理の仕方>

- ・窓を開けて換気
- ・使い捨て手袋かビニール袋を使い、直接手に触れないように工夫する。
- ・おう吐物や処理に利用したタオルなどはビニール袋に密封。
- ・汚染物がついた床や周囲を、塩素系漂白剤でペーパータオルなどに染み込ませ浸すように拭く。
- ・十分に手洗いうがいをする。



インフルエンザを防ごう！

症状 38度以上の発熱、せき、くしゃみ、寒気、のどの痛み、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感。

経過 急激に進み、重症化することもあります。

感染経路 せきやくしゃみの飛沫による感染と接触感染。

かからないためのポイント

- ・流行期にはできるだけ人混みに近づかない。
- ・外出時はマスクをする。
- ・帰宅後は手洗い・うがい。
- ・予防接種を受ける。
- ・栄養と睡眠を十分とり、抵抗力を高める。

「かかったかな？」と思ったら…早めに医療機関を受診しましょう!!



塩素系漂白剤の薄め方 (5%→0.1%)

ノロウイルスには加熱や塩素系漂白剤による消毒が有効です。使用方法を守り、適正な濃度に薄めて使用しましょう。

塩素系漂白剤は商品により塩素濃度が異なるので確認してね！

濃度	商品名
約14%	ミルトン、ミルクボン、ビュリアンP など
5～9%	ハイター、ブリーチ、ビュラックス など
10～12%	ビュラックス-10 など

5%塩素系漂白剤 ペットボトルキャップ 2杯分(約10ml)
※1%塩素系漂白剤の場合は10杯分
10%塩素系漂白剤の場合は1杯分

① 5%塩素系漂白剤をペットボトルキャップ2杯分(約10ml)を500mlペットボトルに入れて、薄める。

② 水をボトルいっぱいに入れて、薄める。

③ 50倍に薄まり、0.1%になる
※日常的な消毒には、さらに5倍薄めた0.02%のものを使用する。

*使用する直前に薄め、その都度使い切るようにしましょう！

*誤飲しないよう、作り置きはやめましょう！

使用目的	適正な濃度
下痢便、おう吐物の処理時	0.1% (1,000ppm)
調理器具、トイレのドアノブ、便座、床などの日常的な消毒	0.02% (200ppm)

保健センター ☎364-4786

宅地防災対策について支援します

都市計画課 ☎364-2510

東日本大震災で被災した宅地かさ上げや擁壁の復旧などに対して次のとおり支援します。なお、当該工事を実施済みの場合も対象となります。

1. 防災対策工事

受付期限 平成30年3月31日まで

対象者 東日本大震災により半壊以上の判定を受け、住宅の再建のために下記工事を実施する所有者。

対象宅地 個人が所有する居住に供する宅地が対象です。営利を目的とする借家、事務所、非住家などの宅地は対象となりません。

対象工事・助成内容 (対象経費の2分の1を補助)

- (1)かさ上げ工事 (上限20万円)
- (2)かさ上げに伴う擁壁工事 (上限100万円)
- (3)高基礎工事 (上限100万円)
- (4)曳き家又は揚げ家工事 (上限300万円)

2. 被災宅地復旧工事 (擁壁など)

受付期限 平成26年3月31日まで

対象者 東日本大震災により被災した宅地の所有者、管理者など。

対象宅地 個人の居住に供する宅地が対象です。営利を目的とする借家、事務所、非住家などの宅地は対象となりません。

対象工事・助成内容 次のいずれかの復旧工事を行った場合に、対象経費の2分の1 (上限150万円)を補助

- (1)のり面保護工事
- (2)擁壁の設置又は補強補修工事 など

※詳しくは、上記問い合わせ先までご相談ください。

宅地防災対策支援制度を利用した方の声



住宅を再建するにあたり、支援制度を利用してかさ上げすることができ、経済的に助かりました。

(藤倉二丁目)

◀かさ上げ工事 (1) とかさ上げに伴う擁壁工事 (2) を実施



震災直後は不安でしたが、支援制度を利用して擁壁も修復し安心していきます。

(藤倉二丁目)

◀擁壁の設置工事 (2) を実施